

Investor's
Report2018年
3月期
第2四半期

2017年4月1日 ~ 2017年9月30日

第2四半期 連結業績ダイジェスト

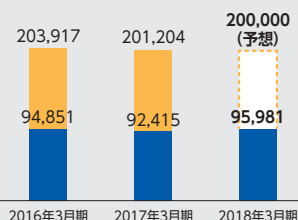
ココが

POINT!

- 1 売上高は、第2四半期としては過去最高。
- 2 営業利益も、第2四半期では過去2番目の高水準。
- 3 航空機は減収なるも、円安効果で増益に。
- 4 建設・物流分野向け特装車の需要が高水準を維持。

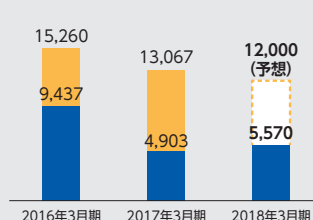
売上高

95,981 百万円

対前年
同期比 3.9% 増 ↑■ 通期 ■ 第2四半期累計
(単位:百万円)

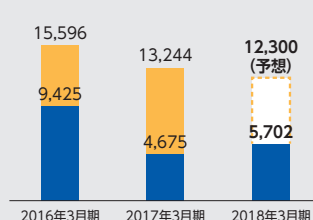
営業利益

5,570 百万円

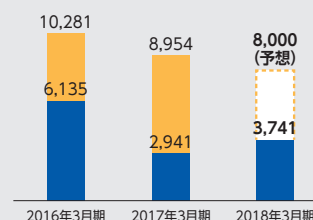
対前年
同期比 13.6% 増 ↑■ 通期 ■ 第2四半期累計
(単位:百万円)

経常利益

5,702 百万円

対前年
同期比 22.0% 増 ↑■ 通期 ■ 第2四半期累計
(単位:百万円)親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

3,741 百万円

対前年
同期比 27.2% 増 ↑■ 通期 ■ 第2四半期累計
(単位:百万円)

通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
7/28予想	200,000百万円	11,000百万円	11,300百万円	7,200百万円	75円42銭
10/31予想	200,000百万円	12,000百万円	12,300百万円	8,000百万円	83円80銭
7/28予想比	→	9.1% 増 ↑	8.8% 増 ↑	11.1% 増 ↑	8円38銭 ↑

トップメッセージ



平素から新明和グループをご支援いただき誠にありがとうございます。

3カ年の中期経営方針「New Challenge 100」の活動期間も残り半年を切りました。2018年3月期第2四半期までの業績は、期初の予想値を上回って進捗しておりますが、主要事業の特性から、下期の収益が通期業績を左右する傾向にあるため、現在受注を頂戴している案件について確実に売上に計上するとともに、「New Challenge 100」を総括し、反省・課題を踏まえ、次期中期経営方針につなげる準備を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社事業活動についてご理解、ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

取締役社長 **五十川龍之**

第2四半期セグメント別業績

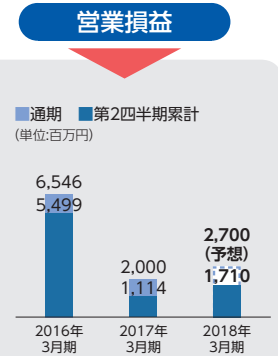
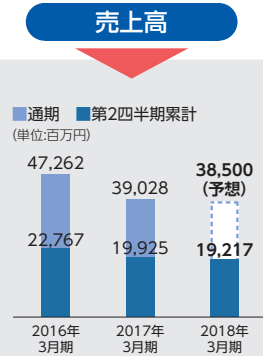


航空機

- US-2型救難飛行艇の製造が端境期を迎え、受注、売上いずれも減少。
- 民需関連もボーイング社「777」が後継機への移行に伴い減少するも、他で補って前年同期水準を維持。

通期の見通し

◎売上は前期と同水準を見込むが、円安効果で増益予想。

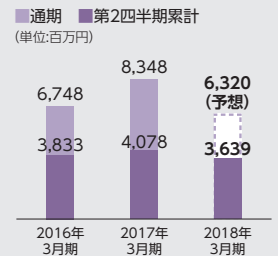
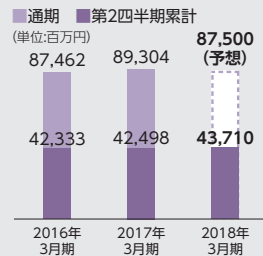


特装車

- 主力の建設・物流分野向け特装車の需要が高水準を維持。
- 保守・修理事業は、受注、売上ともに前年同期並み。

通期の見通し

◎普通トラック需要が過去5年で最高水準であった前期より若干減収となり、資材費、人件費増も加わって減益予想。

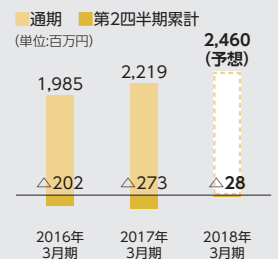
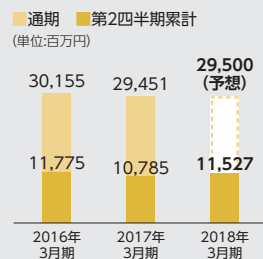


産機・環境システム

- 流体製品、環境関連事業は前年同期並みの売上。
- メカトロニクス製品は増収。

通期の見通し

◎売上は前期と同水準、営業利益は収益性改善で増益見込む。

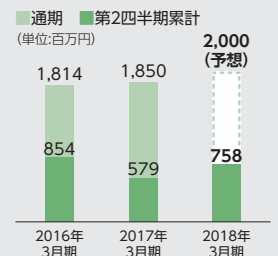
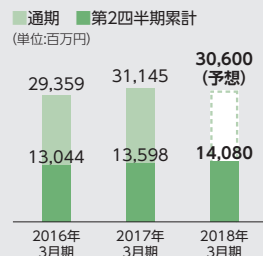


パーキングシステム

- 機械式駐車設備は、首都圏で高水準を維持し、地方都市でも需要が増加。
- 航空旅客搭乗橋も若干増収。

通期の見通し

◎売上は前期と同水準、機械式駐車設備の収益性改善で増益見込む。



※「通期の見通し」は、前期実績との比較。

メンテ
ナンスの
チカラ

流体事業

新明和アクアテクサービス株式会社

産機・環境システムセグメントにおいて、安定した収益を生み出している流体事業。日ごろ目にするところのないところで稼働する水中ポンプ等の保守・サービスを担っているのが、新明和アクアテクサービス株式会社です。今号では同社についてご紹介します。



事業概要

下水道普及率の上昇とともに、新明和製の水中ポンプをはじめとした流体製品の納入台数が増加したことから、2003年、既納製品の保守・点検・修理などのサービス事業を行う専門会社として当社は設立されました。下水道業界で、サービス事業の専門会社はめずらしいですが、製造とサービスを分業することで、お客様第一主義に徹した技術力ときめこまやかなサービスを提供できることが当社の強みとなっています。



保守・点検
サービス

修理・据付工事
サービス

リニューアル
サービス

管理
サービス

新明和の流体事業では、下水道向け設備用水中ポンプを主力に製造していることから、当社のお客様の大半は、地方公共団体です。近年、納入してから一定の年月が経過した製品のリニューアル需要が増加傾向にあります。また、国土交通省から下水道事業の「ストックマネジメント」方針が打ち出され、設備の機能強化や長寿命化を推進する中、機器の保守・点検・修理に対する需要の高まりとともに、当社の役割がますます重要になっています。

これまで当社が堅調に事業を拡大できたのは、メーカー傘下のサービス会社という立場を生かした豊富な製品知識と、長年の実績に裏打ちされた技術力、そしてお客様と誠実に向き合ってきた信頼関係を築いてきたからこそであると考えています。お客様の言葉を真摯に聴き、現場で気付いたことは、言いにくいこともすべて製造サイドにフィードバックしてきました。こうした積み重ねが新たな製品開発や改良に生かされ、スピーディーな改善対応を実現する姿勢が評価され、今では、お客様からご使用中の製品を修理すべきか、あるいはリニューアルすべきかといったご相談を受ける機会も増えていきます。

大切にしていること

私たちの原動力は、お客様からいただく「ありがとう、次回もお願いします」の言葉です。当社のサービス員は最もお客様に近い存在ですので、「ブランドの顔」として重要な役割を担っているとの考えの下、“人財”教育にも注力しています。14年前から、指定サービス店も対象にした「技術講習会」を実施しており、また、社内限定講習会では毎年テーマを変えてレベルアップを図っています。指定サービス店の中には、他社製品のメンテナンスを請け負うところもありますが、下水処理の工程において、流体製品は24時間365日稼働することが求められており、高い信頼性と安定した性能を発揮し続けるためのサービスを提供することが当社の使命と考え、業界全体の技能の底上げにも貢献しています。

当社では「安全第一」、「コンプライアンスの順守」、そして「お客様の声をよく聴くこと」をモットーに掲げています。今後は、自治体向けの事業を更に拡大するとともに、他社製品に対するサービスや、民間市場へのアプローチを強化し、流体事業の収益拡大に貢献してまいります。



取締役社長

島坂 忠宏

Corporate Data | 新明和アクアテクサービス株式会社

本社所在地	兵庫県芦屋市打出町7-18
設立	2003年4月
資本金	90百万円
従業員数	95名(2017年9月末現在)
売上高	3,511百万円(2017年3月期)
主な事業	水中ポンプなどの流体製品・システムの保守・点検・修理、据付工事、販売及び販売の斡旋並びに同部品の販売
サービス拠点	130カ所(指定サービス店を含む)

イワフジ工業株式会社 自走式搬送機器が2017年度グッドデザイン賞を受賞

このたび、イワフジ工業株式会社が製造する自走式搬送機器「BCR-130Bラジキャリ(Radio Control Carriage)」が、2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。

「ラジキャリ」は、間伐材を切り出した場所から集積場まで、遠隔操作で安全に搬送する機器です。今回の受賞は、搬送機器本体のエンジン水平保持機構(特許出願中)による安定感や、自動停止機能による運転操作の省力化に加え、エンジンユニットのフルカバー化により森林火災の未然防止を図った点が評価されたものです。

さらに、生分解性作動油を採用し、環境保護にも配慮しています。

イワフジ工業株式会社が製造する「高性能林業機械」は、お客様にとって安全かつ効率的な作業環境づくり、そして日本の林業の活性化にも貢献しています。



「ラジキャリ」の使用状況
をご覧ください。



YouTube

IWAFUJI VIDEO

会社概要 (2017年9月30日現在)

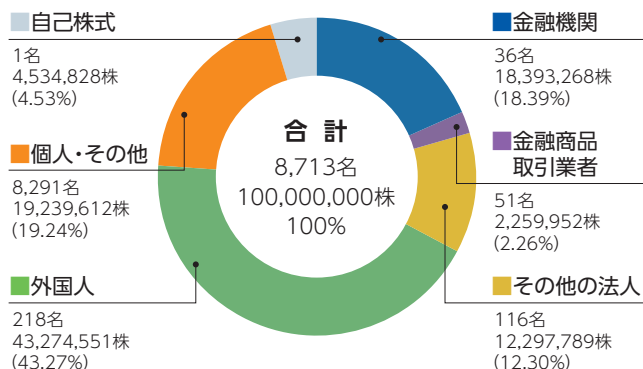
商号	新明和工業株式会社
設立年月日	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
従業員数	2,995名
連結従業員数	4,796名

株式情報 (2017年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	100,000,000株
単元株式数	100株
株主数	8,713名

株主構成



()内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三信株式会社	9,293,065	9.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,690,400	3.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,348,700	3.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,111,600	3.26
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	2,597,300	2.72
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,406,400	2.52
GOVERNMENT OF NORWAY	2,260,200	2.37
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,168,200	2.27
新明和グループ従業員持株会	1,978,617	2.07
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,577,700	1.65

(注) 持株比率は、自己株式数(4,534,828株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shinmaywa.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

単元株式数を変更しました

2017年7月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。これにより、

- 売買単位が10分の1になったことに伴い、当社株式が購入しやすくなりました。
- 株主総会の議決権行使は、100株から可能となります。

なお、単元株式数の変更に伴う新たなお手続きの必要はありません。

株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 (通話料無料)

IR情報 メール配信のご案内

当社グループの情報開示や企業ニュース等をメールでタイムリーにお知らせしています。ぜひ、以下のサイトから登録ください。(三菱UFJ信託銀行証券代行部が運営しているIRメール配信サービスを利用してメールを配信しています。)

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=7224>